

『現代の図書館』掲載記事一覧

2002年～2011年

*現代の図書館 Vol.40, No.1～Vol.49, No.4 に掲載された記事を、特集記事、一般記事、投稿記事、日本図書館協会委員会記事にわけ、それぞれを一覧にした。

特集タイトル一覧

年	巻号・号数	特集タイトル
2002 年	Vol.40, No.1	「総合的な学習」と図書館
	Vol.40, No.2	図書館の危機管理
	Vol.40, No.3	図書館パフォーマンス指標と経営評価の国際動向
	Vol.40, No.4	著作権・公貸権・図書館
2003 年	Vol.41, No.1	評価／経営する図書館へ向けて
	Vol.41, No.2	地域に根ざしたビジネス支援事業
	Vol.41, No.3	レファレンス・サービス—利用者との関係から考える
	Vol.41, No.4	目録はサービスである
2004 年	Vol.42, No.1	情報流通の最新動向
	Vol.42, No.2	読書のサイエンス
	Vol.42, No.3	新しい枠組みとしての図書館の自由
	Vol.42, No.4	法情報へのアクセス拠点としての図書館
2005 年	Vol.43, No.1	図書館員の養成と資格制度に関する国際動向
	Vol.43, No.2	投稿論文セクション
	Vol.43, No.3	図書館員による図書館研究—大学院における成果
	Vol.43, No.4	図書館における医療・健康情報の提供
2006 年	Vol.44, No.1	公共図書館のレファレンスサービス—図書館員と研究者の共同研究から
	Vol.44, No.2	Open
	Vol.44, No.3	高齢者と図書館
	Vol.44, No.4	地方自治制度の変貌と都道府県立図書館
2007 年	Vol.45, No.1	図書館サービスと出版流通の課題
	Vol.45, No.2	図書館資料の汚破損—利用者のモラルと公共財のリスクマネジメント
	Vol.45, No.3	図書館のアクセシビリティ・ユーザビリティ
	Vol.45, No.4	情報リテラシーの育成と図書館サービス
2008 年	Vol.46, No.1	子どもの読書を再考する
	Vol.46, No.2	情報の保存と資料の修復
	Vol.46, No.3	これからの図書館目録に向けて

年	巻号・号数	特集タイトル
	Vol.46, No.4	最近の図書館の動向
2009 年	Vol.47, No.1	図書館へのメッセージ
	Vol.47, No.2	図書館をつくる
	Vol.47, No.3	自治体経営と図書館
		政府情報等の収集と提供
	Vol.47, No.4	図書館におけるまんがの行方
2010 年	Vol.48, No.1	読書の遠近法（パースペクティブ）
	Vol.48, No.2	調査研究法を学ぶ
	Vol.48, No.3	投稿論文セクション 2
	Vol.48, No.4	分類新時代
2011 年	Vol.49, No.1	図書館ワーキングプア雇用者の〈非正規〉分布
	Vol.49, No.2	図書館における全文テキストデータの可能性について
	Vol.49, No.3	災害と情報・メディア
	Vol.49, No.4	デジタル化時代の識別子

特集記事一覧

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2002 年	Vol.40, No.1	特集：「総合的な学習」と図書館 「総合的な学習」と学校図書館 総合的な学習の時間における情報収集 和光中学校の総合学習と図書館一生徒の「主体的な学び」をサポートする 学校図書館が連携した授業「課題研究」の展開—高校図書館からのレポート ルール化による学校と図書館の連携—福生市の取り組み 東村山市立図書館の「総合的な学習」支援事業 学びのための多様性とイニシアチブ—図書館を活用する「総合的な学習の時間」のために	成田國英 坂本紹一 高間幸江 山中規子 島 弘 山重壮一 片岡則夫
	Vol.40, No.2	特集：図書館の危機管理 図書館の危機管理総論—リスクの全体像とさまざまなアプローチ 図書館における災害対策 公立図書館の危機管理論・序説 図書館における暴力とその対応 江東区個人情報保護条例と図書館 不明本と BDS 個人情報の保護と図書館システム—明治大学図書館を事例として 学校図書館の危機管理	小林昌樹 坂本 勇 鈴木良雄 山本宣親 西村彩枝子 西河内靖泰 中林雅士 須永和之
	Vol.40, No.3	特集：図書館パフォーマンス指標と経営評価の国際動向 図書館評価の現状と課題—パフォーマンス指標の活用に向けて 図書館パフォーマンス指標と図書館統計の国際標準化の動向 欧州における図書館の測定・評価の動向 英国の公共図書館における国家施策とパフォーマンス指標	糸賀雅児 徳原直子 鎌倉治子 橋詰秋子

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2003年		ARL 新尺度イニシアティブ 図書館評価研究における経営学的アプローチ 公共図書館サービスの対社会効果を評価する—英国における社会 過程監査の例	杉山誠司 池内 淳 塩崎 亮
	Vol.40, No.4	特集：著作権・公貸権・図書館 図書館サービスと著作権の今日的課題 「公貸権」に関する考察—各国における制度の比較を中心に ドイツの図書館における著作権問題—公共貸出権を中心に 複写権の法定集中管理と図書館における複写—フランスの法と運用 学校図書館と著作権	黒澤節男 南 亮一 寺倉憲一 長塚真琴 村山 功
	Vol.41, No.1	特集：評価／経営する図書館へ向けて 「行政評価システム」による公立図書館の評価に関する考察 神奈川県立川崎図書館における「評価シート」の作成と今後の課題 「座間市立図書館利用者満足度調査」概要 図書館経営の評価法—図書館パフォーマンス指標の利用について 図書館会計論序説—マニフェスト	桑原芳哉 大塚敏高 三村敦美 岸田和明 高山正也
	Vol.41, No.2	特集：地域に根ざしたビジネス支援事業 公共図書館におけるビジネス支援サービスの実際と可能性 浦安市立図書館におけるビジネス支援事業について SDI（選択的情報提供）—北広島市図書館におけるモニター事業の 報告 札幌市中央図書館におけるビジネス支援—ビジネス支援資料リス ト等の作成事例 ビジネス支援と図書館	山崎博樹 白沢靖知 新谷良文 武田雅史 松本 功
2003年	Vol.41, No.3	特集：レファレンス・サービス—利用者との関係から考える 85%という哀しみと喜び—公立図書館におけるレファレンス・ サービスの今とこれから 調査の流れと組み立て方—神奈川レファレンス探検隊からのレ ポート 都立図書館におけるレファレンス研修と支援事業 国立国会図書館におけるレファレンス・サービスの現状 インターネットを資料案内とレファレンス・サービスに役立てる 情報リテラシーと大学図書館	斎藤文男 浅野高史 佐藤眞一、瀬島健二郎 大場利康、鈴木宏宗 山重壮一 長谷川豊祐
	Vol.41, No.4	特集：目録はサービスである 整理業務の変質？—図書館員はどうあるべきか 書誌情報に関する方針と計画—国立国会図書館の動向 TRC MARC/T タイプ 国立情報学研究所の動向—書誌ユーティリティの現状と将来 早稲田大学図書館目録の推移と今後について 埼玉県高等学校図書館における合同目録の例 利用者の目からみた図書館の目録—評価する点、改善すべき点、 期待する点 米国にみる「新しい図書館目録」とその可能性—ベイツレポート を中心に	白石英理子 横山幸雄 松木暢子 大場高志 藤巻俊樹 阿部千春、清水典子 岡本 真 橋詰秋子

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2004年	Vol.42, No.1	特集：情報流通の最新動向 学術情報流通の最新の動向—学術雑誌価格と電子ジャーナルの悩ましい将来 情報流通における標準化活動の現状と意義 非接触型無線 IC タグ (RFID) の導入効果とこれからの課題について 日書連 MARC 誕生の意義	土屋 俊 菅野育子 高橋正名 長尾幸彦
	Vol.42, No.2	特集：読書のサイエンス 心理学的視点からの読書研究 組版からみた読みやすさとは何か 日本人における黙読と音読 速読の心理学	村田夏子 前田年昭 橋元良明 増井 透
	Vol.42, No.3	特集：新しい枠組みとしての図書館の自由 プライバシー侵害図書提供制限と図書館の自由 アメリカの知的自由と図書館の対応に関するひとつの視角—愛国者法から図書館監視プログラム、そして COINTELPRO に遡ると学校図書館と「図書館の自由」—貸出記録の目的外使用問題を中心に	松本克美 山本順一 山口真也
	Vol.42, No.4	特集：法情報へのアクセス拠点としての図書館 新しい司法の姿と法の図書館 法律情報専門職の創造—職業的ロー・ライブラリアンの存在意義 法情報調査におけるロー・ライブラリアンの役割—米国ロー・スクールを例に 法情報検索教育のいま—シラバスから見たわが国の法情報検索教育とその課題 国立国会図書館の法令関連情報提供サービス—日本法令索引データベースシステムと今後の展開	早野貴文 岩隈道洋 中網栄美子 指宿 信 等雄一郎
2005年	Vol.43, No.1	特集：図書館員の養成と資格制度に関する国際動向 フランスの司書養成教育 スペインの図書館情報学教育について—EU 加盟国の中の図書館情報学事情 ドイツの司書教育—ドイツの歴史的背景と特殊条件を踏まえた現在の司書教育システムとその内容について 日本における公共図書館職員の認定制度とその課題—図書館職員の研修と処遇	山形八千代 浜口美由紀 イエンス・ボイエ, 吉次基宣訳 大谷康晴
	Vol.43, No.2	特集：投稿論文セレクション コリン・セント・ジョン・ウィルソンの大英図書館とゴシック・リヴァイヴァルの系譜 図書館の運営と司書職の統制 開架書架の維持管理 公立図書館の「コスト算出」と民間企業による「擬似公募入札」—『行政サービスの外部委託に関するビジネスプラン研究会報告書』における図書館関係分析結果について 機関リポジトリの発展に向けて—現状と課題 韓国における司書職制度の分析	近藤存志 薬師院はるみ 坂牧一博 桑原芳哉 後藤敏行 尹熙潤, 孫誌銜

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2006年	Vol.43, No.3	特集：図書館員による図書館研究—大学院における成果 女性センター情報ライブラリーにおける地域ネットワークの展望 —専門情報提供機関との連携 英国における学術情報戦略—フォレット報告と JISC 公共図書館の可能性—図書館の現場より オーストリア図書館—対外文化政策としての在外図書館	木下みゆき 吞海沙織 鈴木 均 内田麻里奈
	Vol.43, No.4	特集：図書館における医療・健康情報の提供 わが国の公共図書館による健康情報提供に関する実態調査 EBM と図書館員 病院における患者・家族への医学・医療情報提供の現状—病院図書室と患者図書室 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の可能性—公共図書館と医学図書館のネットワーク 市町村健康政策に応じた公共図書館の健康情報サービス—「健康日本 21」における保健所との連携 北米の公共図書館における健康情報サービス	杉江典子 山口直比古 有田由美子, 長井律子, 真下美津子, 吉田奈穂子, 吉富まち子 磯野 威, 阿部信一 宮崎奈穂子 酒井由紀子
	Vol.44, No.1	特集：公共図書館のレファレンスサービス—図書館員と研究者の共同研究から レファレンスサービスの評価に関する文献展望 ニューヨーク市クイーンズ区公共図書館における図書館サービス—情報サービスを中心に 調布市立中央図書館におけるレファレンス質問の変化 公立図書館における地域に関するクイック・レファレンスサービスの要件—立川市中央図書館の事例調査 雑誌を利用したレファレンスサービスの変化—質問事例の分析から	小池信彦, 五十嵐花織, 田村俊作 杉江典子 五十嵐花織 中村史子 中山康子
	Vol.44, No.2	特集：Open 図書館とオープンソース・ソフトウェア 大学図書館員の能力開発とオープン化 マスデジタイゼーションプロジェクトと図書館—Google, OCA, MSN, EU デジタル図書館 クリエイティブ・コモンズがめざす著作物の自由な流通と共有	原田隆史, 江藤正己 大埜浩一 鈴木尊紘 上村圭介
	Vol.44, No.3	特集：高齢者と図書館 高齢者と図書館 英米の高齢者サービスガイドラインに見る高齢者観 高齢者の図書館利用と読書活動をめぐる問題 利用者高齢化への空間的配慮 斐川町立図書館の高齢者サービス—回想法による試み エルダーカレッジ—学び続ける中高齢者のための大学	高島涼子 入江有希 堀 薫夫 木野修造 白根一夫 田中朋子
	Vol.44, No.4	特集：地方自治制度の変貌と都道府県立図書館 県立図書館の「実力」向上が必要—専門知識を生かす「4要素」の強化 地域住民に必要とされる図書館になるために—鳥取県立図書館のミッション「人づくり」の実現に向けて	丸地真人 小林隆志

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
		市町村合併が公共図書館サービスに及ぼす影響に関する検討—広島県の事例 県立図書館の「第一義的機能」 都道府県立図書館の機能に関する言説の批判的分析（投稿）	中島正明，植田佳宏 新 出 渡邊齊志
2007年	Vol.45, No.1	特集：図書館サービスと出版流通の課題 図書館サービスと出版流通の課題—図書館流通は変わってきたのか 学術情報流通における大学図書館と大学出版—AJUP の取り組みから 出版社として図書館に望むこと 地方出版の昨今	蔡 星慧 橋元博樹 松本 功 川上賢一
	Vol.45, No.2	特集：図書館資料の汚破損—利用者のモラルと公共財のリスクマネジメント 汚破損を不快に思う利用者からの提言 図書館のモラルを生き延びる道を教えよ—新聞投書に見る図書の書き込み・切り取り問題と公共意識の変化 図書館資料の汚破損と無断持ち出しについて ジョー・オートン 本への攻撃／社会への攻撃	諸橋孝一 小泉 徹 山口由美 矢島直子
	Vol.45, No.3	特集：図書館のアクセシビリティ・ユーザビリティ 試論：理想の OPAC を求めて—ユーザビリティの観点から 「使える」小学校図書館を目指して—狛江市（東京都）の学校図書館から 見えない・見えにくい人も暮らしやすい社会を目指して—出版社「大活字」のこれまで・これから 図書館利用環境の利便性—図書館利用と多言語環境について	岡本 真 丸山英子 市橋正光 青木政夫
	Vol.45, No.4	特集：情報リテラシーの育成と図書館サービス 情報リテラシーと図書館サービス 情報リテラシー科目の e ラーニング化に伴う学習支援体制 図書館の活用法を伝授します!! 鳥取県立図書館の実践から—図書館は公務員・教職員の情報リテラシー向上に寄与できるか？ 公共図書館における情報リテラシー教育の現状 教員との連携による情報リテラシー教育支援—東京学芸大学附属図書館事例報告 小学生に情報リテラシーを育てる 図書館員による情報リテラシー教育 現在・過去・未来	大城善盛 小松泰信 小林隆志，網浜聖子， 松田啓代 高田淳子 大谷朱美 鎌田和宏 上岡真紀子，市古みどり
2008年	Vol.46, No.1	特集：子どもの読書を再考する 子ども読書活動推進の傾向と課題 国際学力調査 PISA における読解力と日本の子どもの読書思考力（PISA 型読解力）を高めることを目的とした学校図書館の「読書」支援—社会科授業への支援を例として 子どもの読書と絵本再考 小平市における子ども読書活動推進の計画と実践	岩崎れい 福田誠治 桑田てるみ 生田美秋 蛭田廣一
	Vol.46, No.2	特集：情報の保存と資料の修復 日本の図書館等における蔵書の状態調査—その歴史と方法論 法政大学大原社会問題研究所における資料保存—小規模研究所ライブラリーの取り組みから	小島浩之，矢野正隆 若杉隆志

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2009年		山口大学所蔵戦前期東アジア関係資料の可能性—ILLでの利用と保存の問題を端緒として（投稿） 「保存と活用」の保証と災害対策—水濡れ資料の救出と修復作業を通じて 資料の保存と修補の実践 電子情報の保存—FDを中心としたディスク系資料の長期利用保証 電子図書館と資料情報のデジタル化の意味—慶應義塾大学メディアセンターのデジタル化プロジェクトの経験から	日高友江 児島 聡 城崎陽子 大島茂樹 入江 伸
	Vol.46, No.3	特集：これからの図書館目録に向けて デジタル化環境下の書誌コントロール—これからの図書館目録に向けた動き 書誌レコードの機能要件（FRBR）と新しい国際目録原則覚書—目録の今後の方向性 世界に向けての新しい目録規則—RDA 策定の動向 ある米国目録司書からの報告 NII アクションプランの成果と NACSIS-CAT/ILL の今後 国立国会図書館の書誌データの作成・提供のこれから—2008 年からの新しい方針 創価大学図書館における OPAC 高度化の取組み Project Next-L プロトタイプで実現する「新しい目録」—FRBR と「Web2.0」の実装 フランスの学校図書館における目録情報—汎用システム BCDI の活用	佐藤義則 橋詰秋子 鈴木啓子 細川聖二, 平田義郎, 齊藤泰雄, 内藤裕美子 中井万知子 大塩裕子 田辺浩介 須永和之
	Vol.46, No.4	特集：最近の図書館の動向 知識基盤社会における学びを支える図書館—「学校図書館」か「学校の中にある図書館」か 図書館員のための自動化書庫導入検討項目—国際基督教大学図書館の運用実績からの報告	河西由美子 黒澤公人
	Vol.47, No.1	特集：図書館へのメッセージ 私にとっての図書館 宝探しの旅へ！—読書ナビゲーターとしての司書・教師の重要性 図書館に期待すること！ 一歩前へ！ 大学生・大学院生の望む図書館像 図書館のモラルを取材して 市民協働の政策決定と公共図書館	辻 由美 三輪涼子 稲田善樹 浅井充子 藤原達生 朝来野祥子 柳澤友穂
	Vol.47, No.2	特集：図書館をつくる 開発途上国における図書館支援—ビルマ（ミャンマー）難民キャンプの事例から 国立新美術館のアートライブラリーができるまで 学校から図書館への用途変更—渋谷区立臨川みんなの図書館の場合 奈良県立図書情報館—構想から開館まで 長崎市立図書館の建設と運営	渡辺有理子 平井章一 川島 宏 富山久代 小川俊彦

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2010年	Vol.47, No.3	特集：自治体経営と図書館 公共施設の経営と自治体市民 公共サービス運営主体の多様化と課題—自治体の図書館などの文化施設の現状を概観する 「図書館」で働く人たちの非正規化の実態と問題点 ニュー・パブリック・マネジメントによる公立図書館の運営—官民の職務分担にもとづく人材育成 経営ツールとしての「図書館マニフェスト」をめぐって—三重県明和町立図書館の取り組み	片木 淳 伊藤久雄 上林陽治 青柳英治 府川智行
		特集：政府情報等の収集と提供 米国の公共図書館における政府情報・電子政府関連サービスの実情—公共図書館の価値への期待と政府業務の縮小とはごままで政府情報の流通—公開と流通を支えているもの 納本制度による官庁出版物の収集の現状について—納本制度 60 周年記念アンケートの結果から	古賀 崇 大竹晴日虎 国立国会図書館収集書誌部
	Vol.47, No.4,	特集：図書館におけるまんの行方 図書館等におけるマンガ掲載雑誌の保存—その意義、現状、課題 マンガアーカイブの必要性とこれから マンガ・図書館・大学・政府 国立国会図書館におけるマンガ雑誌の所蔵状況 フランスの図書館におけるマンガ事情 ミュージアムで、マンガを読む、描く、楽しむ、そして研究する—京都国際マンガミュージアムの紹介 マンガと図書館—まんが図書館の運営から教えられたこと 学校図書館とマンガ—図書館が苦手なマンガと上手につきあう方法 マンガと学校図書館—マンガを正当なメディアとして評価するには	宮本大人 中野晴行 森川嘉一郎 高久真一、塩崎 亮、 久永茂人 原 正人 渡邊朝子 小林郁治 笠川昭治 渡部康夫
		特集：読書の遠近法（パースペクティブ） この 30 年で日本の読書環境は激変した 雑誌・書籍のデジタル化とその未来—デジタル・インパクトからデジタル・イノベーションへ 「書物のシステム」が変わる時代に 読者一人ひとりのニーズから読書サポートのあり方を考える 2010 年「国民読書年」に障害者・高齢者の「読書バリアフリー」を考える 「読書の意義」の過去・現在・未来—《社会の中の読書》という視点から 読書という体験	永江 朗 丸山信人 仲俣暁生 成松一郎 宇野和博 飯田篤司 影浦 峡
	Vol.48, No.2	特集：調査研究法を学ぶ 調査の統計処理 フォーカス・グループ・インタビューは利用要求を解明する 図書館サービス評価の実践—慶應義塾大学における LibQUAL+®（ライブカル）の実施と結果 図書館の遠隔利用者に関する調査手法の比較—国立国会図書館ウェブサイト事例として	歳森 敦 長谷川豊祐 浅尾千夏子、藤本優子 安形 輝

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2011年		図書館史研究をどう進めるか 図書館実務者による調査研究	奥泉和久 阿部信一
	Vol.48, No.3	特集：投稿論文セクション2 公立図書館というスペースの思想的総合性—集会室や展示空間へのアクセス 歴史的概観 図書館に関わる著作権法条項の成立の経緯—第30条私的使用のための複製と第31条図書館等における複製 県立図書館は機関リポジトリの技術をどのように活用できるか—インターネット上の地域情報リポジトリの提案 「Web版ISBN総合目録」の汎用性に関する研究—総合目録の機能の視点から 都道府県立図書館における児童サービスの現状と課題—国際子ども図書館児童サービス連絡会の成果を中心に 心の悩みをもつ人への図書館サービス—受療行動と情報行動の分析結果からみえてきたもの 前IFLA会長クラウディア・ルクス氏に聞く	川崎良孝 藤田節子 山縣睦子 間部 豊 石川真理子, 橋詰秋子 中浴佳男 伊藤 白
	Vol.48, No.4	特集：分類新時代 テキストの自動分類をめぐる現況 『日本十進分類法』新訂10版をめぐる 主題典拠データの機能要件(FRSAD)の概要 中学生の知識世界の構築・体系化のプロセス—分類理解に関する聞き取り調査をもとにして 音楽作品の主題検索 主題, ジャンル, 形式をめぐる Digital Cultural Heritageにおける分類と新しい情報知識体系の可能性 韓国十進分類法(KDC: Korean Decimal Classification) 知識の樹—図書分類と生物分類は共通のルーツをもつ	石田栄美 藤倉恵一 和中幹雄 中島正明 鳥海恵司 研谷紀夫 原田美佳 三中信宏
	Vol.49, No.1	特集：図書館ワーキングプア—雇用の〈非正規〉分布 基幹化する図書館の非正規職員—図書館ワーキングプアを超えて 司書有資格者のワーキングプア問題—専門職労働市場の構築に向けて 非正規職員の現在と未来—基幹化と階層化の中で 図書館スタッフ雇用の現状と課題 大学図書館の外部委託化を失敗させないために 図書館, 非正規で働いて 学校図書館における非正規雇用職員 専門図書館における非正規職員活用の現状	上林陽治 松井祐次郎 小形 亮 坂本成生 大学図書館支援機構事務局 小川恭平 高橋恵美子 長谷川昭子
	Vol.49, No.2	特集：図書館における全文テキストデータの可能性について 電子書籍を読む障壁にしないために—出版社と国立国会図書館への期待 OCR技術の基礎および図書館におけるテキスト化への応用 冊子からテキストへ—文字コードがもたらすものと強いるもの 全文テキスト化の技術 全文テキスト検索技術—サービスの最新動向 音声読み上げ技術TTSがもたらすもの	石川 准 横田和章 富田倫生 高木啓伸 阿辺川武 三瓶 徹

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
		『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の設計 視覚障害者の科学技術文書アクセシビリティについて 電子書籍フォーマット EPUB3 の理念	山崎 誠 山口雄仁 村田 真
	Vol.49, No.3	特集：災害と情報・メディア ソーシャルメディアは震災対応にどう影響を与えたか 「saveMLAK：博物館・美術館，図書館，文書館，公民館の被災・ 救援情報」における活動の経緯と展望 「支援訓練」による減災を一東日本大震災の流言検証者より，後 世へのメッセージ バベルの塔の崩壊—科学の「限界」とこれからの社会について 震災関連資料の収集とその活用—被災地にある図書館の責務として	佐々木俊尚 鍋木あづさ，江草由佳， 山村真紀，筒井弥生， 神代 浩 荻上チキ 八代嘉美 松永憲明
	Vol.49, No.4	特集：デジタル化時代の識別子 機関の識別子と図書館 著者の識別子	兼松芳之 蔵川 圭

一般記事一覧

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2002 年	Vol.40, No.2	公共図書館・児童サービス担当図書館員の専門能力について 改訂版	竹内 愼訳
2004 年	Vol.42, No.1	今こそ公共性の蘇生を—今日の危機的状況における公共図書 館の使命を考えるために（「緊急集会 首都にふさわしい 都立図書館を」における講演より）	石田 雄
	Vol.42, No.2	FRBR とはなにか—その意義と課題 日本でも公貸権がすでに導入されているという主張の検討— 公貸権についての理解を深めるために	和中幹雄 森 智彦
	Vol.42, No.3	図書館への PFI 手法と指定管理者制度の導入	熊谷弘志
	Vol.42, No.4	「公の施設」の指定管理者制度 わが国公文書館制度の課題と内閣府の対応	稲葉 馨 高山正也
2005 年	Vol.43, No.1	来館者調査についての方法論的検討—利勝者満足度に関する 実証分析を通じて	岸田和明，小池信彦， 阿部峰雄，井上 勝， 植田佳宏，下川和彦， 早川光彦
	Vol.43, No.2	電子図書館システム「デジタル岡山大百科」 1996 年～2005 年	森山光良
	Vol.43, No.3	公共図書館に対する新保守主義思想の影響—教育基本法改正 論議に寄せて 生涯学習のための空間デザイン—Dr. マーチン・ルーサー・ キング Jr. 大学／公共図書館（要約）	坂田 仰 クリスティーナ・A・ ピーターソン 安形麻理訳
2006 年	Vol.44, No.1	レファレンス協同データベース事業の取り組み	山元真樹子
	Vol.44, No.2	英国地方自治体の業績評価制度における公共図書館サービス の評価	須賀千絵
	Vol.44, No.4	電子情報環境下における科学技術情報整備—国立国会図書館 の過去・現在・未来	加藤 浩

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2007 年	Vol.45, No.2	公共図書館評価におけるアウトカム指標の事例研究—既往研究および図書館自己評価について	桑原芳哉
		評価がいったい—大学図書館と評価の仕組み 国立国会図書館のビジネス支援機能—国立国会図書館における今後のサービス展開に向けて Web2.0 と図書館サービス	蒲生英博 小澤弘太, 加藤 浩, 長崎理絵 林 賢紀
2008 年	Vol.46, No.1	図書館にとって国際化とは何か—IFLA (国際図書館連盟) 設立・発展の 80 年と近年の変化	小泉 徹
2009 年	Vol.47, No.1	「満足度」と「重要度」を用いた業務分析—国立国会図書館の利用者アンケートをもとに	田辺智子
		国立国会図書館が発信するビジネス情報源—「産業情報ガイド」の紹介	長崎理絵, 藤田実花
2010 年	Vol.48, No.2	図書館の未来—村上春樹の〈図書館〉を通して わが国における図書分類表の使用状況—日本図書館協会「図書の分類に関する調査」結果より	与那覇恵子 大曲俊雄
2011 年	Vol.49, No.3	明星大学の新しい司書課程 明治大学司書課程における司書養成の取り組み	二村 健 青柳英治
	Vol.49, No.4	新しい図書館司書課程への移行対応と司書養成教育をめぐる問題 亜細亜大学における改正司書養成科目への対応	平野英俊 安形 輝

投稿記事一覧

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2002 年	Vol.40, No.4	日本企業における専門職確立の可能性—企業内専門図書館における情報専門職を中心に	青柳英治
2003 年	Vol.41, No.1	市民が豊かに暮らすための図書館—武生市図書館調査研究懇話会の報告書	竹本加良子
	Vol.41, No.4	『図書館への私の提言』への三つの疑問	指田文夫
2004 年	Vol.42, No.1	ヴェトナム図書館歴史探訪—仏印時代から今日まで, 旧サイゴン=ホーチミン市の主要図書館・古文書館を中心に 日本学術会議の学術情報体制への貢献—文系学術図書館の初期と現状	菅野賢治 石川 亮
	Vol.42, No.2	習志野市立図書館における業務の集約化 (案) について	習志野市図書館業務集約化プロジェクト (文責 河栗太一)
	Vol.42, No.3	電子資料の長期保存に向けて	後藤敏行
2006 年	Vol.44, No.3	物言わぬパートナー: 公共図書館におけるスモール・ビジネス, 起業家向けサービス—北米の公共図書館におけるビジネス支援サービスの歴史と現状	Jeanie M. Welch 石原真理訳
	Vol.44, No.4	ビネガー・シンドローム問題再考—マイクロフィルムの保存のために	安江明夫
	Vol.45, No.1	情報探索者が捉えたインターネット環境における情報源としての図書館および図書館員の特性	齋藤泰則

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2007 年	Vol.45, No.3	公共図書館における健康分野のレファレンスブック所蔵状況調査	杉江典子
	Vol.45, No.4	これからの検索システムに求められるものとは—OPAC と富士山情報データベースの試みへ	吉井 潤
2008 年	Vol.46, No.2	公立図書館による政策立案の現代的意義—「図書館員」の消滅と再生	渡邊斉志
	Vol.46, No.4	司書教諭課程用のテキストの中に見られる「情報活用能力」と「メディア活用能力」に関する考察 障害者サービスの普及促進要因に関する分析 国立国会図書館における少年・少女向けマンガ雑誌の利用状況	大城善盛 松本直樹 高久真一, 塩崎 亮 久永茂人
2009 年	Vol.47, No.1	日本の大学図書館統計の現状と課題	立石亜紀子, 石山夕記, 三村沙矢香, 金城裕奈, 宮田洋輔, 長谷川豊祐, 上田修一
2010 年	Vol.48, No.2	ビジネス支援図書館の計画 (試論) —政令指定都市クラスに対する一つのケース・スタディを通して	栗原嘉一郎
2011 年	Vol.49, No.1	県立図書館の存在意義を問い直す—「県立図書館不要論」必要論	加藤和英

日本図書館協会委員会記事等一覧

年	巻号・号数	タイトル	執筆者名
2003 年	Vol.41, No.2	図書館を利用する権利の法的位置づけ 図書館所蔵資料の閲覧請求を中心に	日本図書館協会図書館の自由委員会
2005 年	Vol.43, No.2	公共図書館統計の意義と活用—『日本の図書館』改訂について	日本図書館協会図書館調査事業委員会
2007 年	Vol.45, No.1	図書館における指定管理者制度導入についてのアンケート集計結果	日本図書館協会図書館政策企画委員会
2008 年	Vol.46, No.1	わが国大学図書館における利用教育の実態—『日本の図書館 2003』付帯調査の結果報告	日本図書館協会図書館利用教育委員会
	Vol.46, No.2	図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について 2008 年調査 (報告)	日本図書館協会図書館政策企画委員会
	Vol.46, No.4	公立図書館の業務委託に関する調査の結果報告	日本図書館協会図書館政策企画委員会
2010 年	Vol.48, No.1	図書館における指定管理者制度導入についてのアンケート集計結果	日本図書館協会図書館政策企画委員会
	Vol.48, No.4	『日本の図書館』調査とデータの活用について	日本図書館協会図書館調査事業委員会
2011 年	Vol.49, No.3	「都道府県立図書館への無償提供を求める政府刊行資料に関するアンケート調査」の結果について (報告)	日本図書館協会図書館政策企画委員会
	Vol.49, No.4	図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について 2011 年度調査 (報告) 年表・全国図書館大会の歩み—第 34 回 (1948 年) ~ 第 96 回 (2010 年)	日本図書館協会図書館政策企画委員会 日本図書館協会企画調査部